



広島報

2014.5.19 No.113

あしなび

5月号

県内最大規模のメガソーラー発電開始

佐敷諏訪神社例大祭

町民意識調査概要

特集
学校給食と地産地消





便利な容器入りも登場



御立岬温泉塩「岬の御塩」を豊富に含んだ自然塩です。特に骨や歯を丈夫に保つ働きをするカルシウムが多く含まれています。身体に unnecessary 異物が除去されており、温泉のポイラー排熱を利用した環境にやさしい製塩法で作られた安全・安心な商品です。

御立岬温泉センター
☎(87)2555

「岬の御塩」を使用した 新商品が登場



そるとクリーム

温泉塩アイス



しおあめ

これらの商品も
好評発売中

岬の御塩を使ったそるとクリームや各種塩アイス、しおあめも好評発売中です。

御立岬の温泉塩を使った新しいお菓子が発売されました。

お菓子は「塩せん（しおせんべい）」「ごま太鼓（ごませんべい）」「塩ようかん」の3種類で、有会社御立岬が県内の製造業者に委託して商品化しました。

現在、芦北町物産館肥後うららや御立岬温泉センターのほか、町内の物産館などで販売されています。価格は「塩せん」と「ごま太鼓」が1袋100円、「塩ようかん」は250円です。今後、町内のスーパーなどでも販売される予定です。
*問い合わせ先

御立岬温泉センター

広報あしきた 5月号

CONTENTS — もくじ —

- 3 御立岬温泉塩を使った新製品
- 4 県内最大規模 芦北太陽光発電所が稼働
- 6 学校給食と地産地消
- 8 佐敷諏訪神社例大祭
- 10 お知らせ
- 12 警察署 / 消防署 / 書き損じはがき募集
- 13 芦北町イベントカレンダー
- 14 芦北に残る文化遺産
/ 景さんのチョアチョア記
- 15 保健センターだより（予防接種）
- 16 まちのわだい
- 17 表彰 / イノシシ・シカから農地を守ろう
/ 鳥インフルエンザの終息について
- 18 町民意識調査概要
- 22 道の駅たのうらの防災機能が強化
/ 芦北っ子スマイルギャラリー
- 23 書道・短歌 / 出生・おくやみ
- 24 グリーンカーテンコンテスト
/ 植えてはいけない植物
/ 星野富弘美術館だより

今月の表紙

芦北太陽光発電所開所式での集合写真とほぼ全景を収めたパノラマ写真。写真では感じるほどのスケールの大きさです。



超小型モビリティ EMシェーベータ MCβが試験走行中

熊本県とホンダが取り組む超小型モビリティ社会実験用の車両「MCβ」が役場にやってきました。MCβは2人乗りの電動自動車で、6月末まで実証試験として町内を走行します。
*問い合わせ先

商工観光課 商工係
☎(82)2511 (内線171)



「広報あしきた」の取材にも利用します

広報紙への情報提供やご意見をお待ちしています。また、町内の地域づくり団体や文化・スポーツ団体などが行うイベント情報などのお知らせを掲載しませんか。

原稿提出締切 掲載前月の25日まで

6月号発行日 6月16日(月)

7月号発行日 7月15日(火)

*内容や紙面の都合により掲載できないことがあります。

*問い合わせ先

総務課 秘書広報係

☎(82)2511 (内線212)

人口のうごき

(H26.5.1 現在) ()内は前月比

人口	18,935人	(-40)
男	8,894人	(-8)
女	10,041人	(-32)
65歳以上	7,179人	(-12)
世帯数	7,506世帯	(+13)

県内最大規模のメガソーラー稼働

大手ゼネコンの大林組グループが矢城牧場跡地（高岡南）に建設していた芦北太陽光発電所が4月21日から全面稼働しました。

古石みどりの里で22日に行われた開所式では、大林組の白石達代表取締役社長が「大林組は低炭素社会の実現に向けて各地で再生可能エネルギーの発電事業を行っています。この発電所は弊社が事業化した太陽光発電所の中で最大、また熊本県内でも最大の発電量を誇ります。自然の地形を生かし、環境影響の少ない大規模な発電所として、環境破壊を防ぎ、熊本県の豊かな自然を次世代に引き継げるよう取り組んで参ります」とあいさつしました。

来賓として出席した竹崎町長は「東京ドーム7個分の敷地に10万枚を超えるパネルが設置された圧倒的なスケールと秀麗な姿に感動すら覚えました。本町としても環境学習や地域づくり活動への積極的な活用が図られるよう地域や関係者と連携していきます」と祝辞を述べました。

出席者は式後、矢城の発電所に移動し、完成したメガソーラーを見学しました。現地では、葦北鉄砲隊とくまモンによる演武も行われ、開所に華を添えました。

現地に発電表示パネルを備えた見学広場が整備されたほか、役場庁舎内とみどりの里にも発電表示モニターが設置され、発電量をリアルタイムで見ることが出来ます。

■芦北太陽光発電所概要

事業体	OCE 芦北メガソーラー(株)
敷地面積	32万 8,672㎡
出力規模	21.52MW (メガワット)
年間発電量	2,292万 KWh (一般家庭約 6,300 世帯分)
総事業費	約 65 億円
建設事業者	(株)大林組



くまモンも自転車発電で太陽光発電とくらべ



開所式であいさつする大林組の白石達代表取締役社長



竹崎町長に航空写真を手渡す大林組の運輸賢治常務執行役員



起動スイッチを押して開所を祝う関係者



見学広場からさらに進むと不知火海（八代海）と天草諸島、津奈木や水俣方面が一望できます



役場ロビーに設置された発電表示モニター



古石みどりの里には自転車発電と太陽光発電の発電量を比較する体験学習設備が設置されています



特集

学校給食と地産地消



「地産地消」とは地域で生産したものをその地域で消費する取り組みです。さらに生産者と消費者を結びつけ、お互いの顔が見え、話ができる関係をつくることで、安全・安心な食材の提供と生産者の意欲向上にもつながります。

花岡東にある芦北町学校給食センターを4月24日に訪ねました。この日の給食の献立は、麦ご飯、豚汁、タチウオのみりん干し、サラタマサラダ、牛乳の5品。この給食に使われる食材のうち、お米、大根、サラダタマネギ、タチウオのみりん干しが芦北町産です。

今回は学校給食における地産地消について注目しました。



芦北町の学校給食センターでは、町内9小中学校、幼稚園、県立芦北支援学校に合計約1400食の給食を提供しています。給食に使われる食材は主に地元の業者や熊本県学校給食会から仕入れています。4月24日の給食時間に佐敷小学校5年生の教室を訪ねました。楽しそうに給食を食べる児童たちに「給食はおいしいですか」と質問するとみんなから「はい」と一斉に手が上がりました。児童のひとりには「嫌いな食べ物もたくさんあるけど給食は残さず食べています」と元気よく答えてくれました。

新しく平成24年4月に炊飯設備を備えた学校給食センターが稼働したことにより、地元産米を使用するなど地産地消の取り組みを進めてきました。また、農林水産課と連携して「生産者および学校給食関係者等連絡会議」で協議し、野菜などの青果物についても地元産の利用を図っています。現在、週に2〜3回、一部の野菜や魚介類などが芦北町産の食材として提供されています。地産地消の取り組みにはいくつか課題があります。学校給食は献立を1カ月前には決定し、1400食分の食材を確保しなければなりません。提供する側もある程度規格の揃った野菜類をまとまった量で確実に出荷できる体制づくりが必要です。農産物は天候によって育ち方が大きく変わるので、出荷時期の調整に生産者が気をもむこともあります。こうした事情もあり、これまで給食に食材を納品している町内の生産者は13個人、5団体となっています。給食センター栄養士（佐敷中栄養教諭）の澤江匡代さんは「生産状況によっては、予定していた数量が揃えられないこともあります。安定した地産地消を進めるために食材の提供に協力いただける生産者が増えることが大切です」と話していました。

この日の給食に使われた野菜を納品した生産者に話を伺いました。



▶生産者の藤井幸一さん

豚汁に使われた大根26キロを提供した藤井幸一さん（平生）は、2年前からキャベツ、ネギ、ナスなどの野菜を納めてきました。藤井さんはファーマーズマーケットでこぼんへの出荷を機に「何かしら地域の役に立てれば」と給食への提供を始めました。野菜づくりに対しては「子どもたちが食べる物だからいい品物を作りたい。野菜の気持ちになって育てています」と話していました。

サラダタマネギ49キロを提供した梶原優美子さん（西告）は、「自分が作ったものを学校給食に取り入れてもらうのはうれしい。旬の食材を味わって食べてほしい」と話し、続けて「子どもが食べるものだから、これからも農薬の使用を控えて作りたい」と、食材を提供することへ満足感と同時に生産者としての責任感も垣間見えました。最後に給食を食べた子どもたちの反応を生産者の2人に伝えると「うれしいですね」と顔をほころばせていました。



▶生産者の梶原優美子さん

■これまでに学校給食に地元食材を納品した生産者などの皆さん

- 告地区棚田保全協議会（カボチャ）
- 川口幸江さん（白菜）
- 梶原恵津子さん（人参）
- 柳田千鶴子さん（スイートスプリング、温州ミカン）
- 梶原英夫さん（水煮タケノコ）
- 宮島博美さん（サラダタマネギ）
- 山下静枝さん（コンニャク）
- 梶原敏弘さん（お茶）
- 上田裕二さん（キャベツ、白菜）

- 藤井幸一さん（ネギ、大根、キュウリなど）
- みのり会（ジャガイモ、オクラ、レタス）
- 宮本和市さん（ナス、サラダタマネギ、大根）
- 田中正さん（人参、大根）
- 川元隆さん（レモン）
- 芦北高校（トマト、米、マーマレードなど）
- 道園浩二さん（トマト、デコポン）
- J Aあしきた（米、あしきた牛）
- 芦北町漁協（タチウオのみりん干し）

生産者募集中

芦北町の学校給食にあなたが育てた野菜を納品しませんか。野菜の種類や規格、量についてはご相談ください。

*問い合わせ先
芦北町学校給食センター
☎（82）2403



▲給食センターで献立を作成する澤江匡代さん（写真右）と本井由美子さん（佐敷小栄養職員）

おいしい給食をつくりまします

献立を作成するときには、できるだけ地元の旬の食材を使った料理を取り入れるようにしています。また芦北産の野菜や生産者の想いを児童生徒に知ってもらえるように、「畑からこんにちは」というお便りを各家庭に配布しています。これからも、どんどん新鮮な食材を使って、おいしい給食づくりに頑張ります。

佐敷諏訪神社例大祭

佐敷諏訪神社例大祭が、今年も4月27日、28日に行われました。

27日には、今年で復活して18年目になる神輿（みこし）巡行が葦北鉄砲隊を先頭に芦北町漁協前を出発。白装束に身を包んだ氏子たちが福祉施設や商店街などを通り、佐敷諏訪神社までを練り歩きました。巡行の途中には、各地域やスポーツクラブの子ども神輿の参加や、鉄砲隊の演武なども行われ、見物客を楽しませました。

28日に行われた例大祭の呼び物、赤ちゃん土俵入りには、町内をはじめ遠くは東京都や静岡県などから115人の赤ちゃんが参加しました。紅白のねじり鉢巻きに化粧まわしを身に着けた愛らしい力士たちは、県内のアマチュア力士に抱きかかえられて土俵入りしました。赤ちゃんの健やかな成長を願う家族らが見守る中、時折ひときわ大きな泣き声が響くと会場からも大きな歓声が上がっていました。

期間中には、九州高校選抜相撲選手権大会やわんぱく相撲全国大会出場予選を兼ねた熊本県小学生選抜相撲大会など、熊本県を代表する相撲大会も行

われました。

28日の九州高校選抜相撲選手権大会では、鹿児島県の樟南高校が団体優勝、個人の部では中学生全国2冠の川上竜虎さん（文徳高校1年）が優勝しました。

29日には、第37回熊本県小学生選抜相撲大会、第11回熊本県中学生選抜相撲大会、第14回熊本県少年親善相撲大会と第4回芦北・水俣新1年生大会が同時開催されました。開会式では葦北鉄砲隊の演武のほか、くまモンと菊池のころう君による相撲対決も行われ、会場を沸かせました。

大会結果（町内関係のみ）

第37回熊本県小学生選抜相撲大会

【小学生低学年団体】

準優勝 芦北トレジャー相撲クラブ

【小学2年個人戦】

3位 林田大和（花岡東）

第11回熊本県中学生選抜相撲大会

【中学生個人戦重量級】

3位 松岡友希（花岡西）

1



2 1. 赤ちゃんの成長と無病息災を祈る「赤ちゃん土俵入り」 2. うたせ船をかたどった計石子ども神輿 3. 芦北町海王塾の奉納空手道演武 4. 白熱した高校生力士の取り組み 5. 小学生力士も頑張りました 6. 氏子や葦北鉄砲隊による紅白の餅投げ 7. 薩摩街道佐敷宿商店街を練り歩く神輿巡行



地籍調査に関する「地籍調査」に問い合わせる

旧芦北町地域の地籍調査事業終了により、田浦基幹支所に設置していた地籍調査室が廃止されました。今後、地籍調査の成果品交付や問い合わせについては税務課固定資産税係までお願いします。

「人権相談所」の開設

人権相談所を次のとおり開設しますので、お気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は堅く守られます。

- ▼期日 5月30日(金)
▼時間 午前10時～午後3時
▼場所 芦北町社会教育センター
▼相談内容 いじめ、家庭内の問題、近隣関係、借家・借地、金銭トラブル、遺言、相続、登記、戸籍、その他の困りごと相談
▼相談員 井川良一さん(沖) 梅田安子さん(花岡北) 瀬口 明さん(箆瀬) 中原紀子さん(田川) 鎌木義光さん(湯浦南)

農業・農村の共同活動を支援 ー多面的機能支払事業ー

- ▼活動内容 農業者などによる組織を設立し、法面や水路、農道などの簡易な保全管理の実施と計画の策定
▼交付単価 田(3千円/10アール) 畑(2千円/10アール)
▼対象農地 農業振興地域の農用地区域の農地
※詳しい内容についてはお問い合わせください。
※問い合わせ先 農林水産課 農政係 ☎(82) 2511 (内線271)

農地の賃借などに助成金 農地流動化促進事業交付金

- ▼対象者 町内在住の農業者、農業法人、集落営農組織
▼対象農地 町内の農地で、平成26年4月1日以降に賃借契約を設定

西村文美さん(小田浦5) 濱田辰喜さん(井牟田1)

- ※問い合わせ先 八代人権擁護委員協議会 熊本地方事務局八代支局 ☎0965(32) 2654

訪問看護師養成(リカレント)研修の開催について

- 県と九州看護福祉大学では潜在看護師の人(一時現役を退いた看護職の人で復帰を考えている人)を対象に訪問看護師として活動する基礎を学ぶ研修会を開催します。希望者には職場選択についても支援します。
▼開催日 7月8日(火)、9日(水)、11日(金)、12日(土)、14日(月)、15日(火)
▼場所 ウイングまつばせ(宇城市) ※14日(月)のみラポート小川(宇城市)
*申込・問い合わせ先 九州看護福祉大学 生涯教育研究センター 熊本県地域医療再生計画訪問看護推進人材育成事業事務局 ☎0968(75) 1800

熊本県調理師試験の実施

- ▼試験期日 8月29日(金)
▼試験会場 東海大学 熊本校舎
▼受験資格 中学校卒業程度で、飲食店や給食施設などで2年以上の調理業務従事経験がある人

HIV検査普及週間

- ▼願書配布 5月中旬から各保健所 県庁健康づくり推進課などで配布
▼願書受付 6月16日(月)～20日(金)
▼提出先 水俣保健所
*問い合わせ先 熊本県健康づくり推進課 ☎096(333) 2252

下記の日程でHIV検査が無料。匿名で受けられます。

- ▼検査場所 水俣保健所
▼日時 6月3日(火)、5日(木)午前9時～午後5時(5日は午後7時まで) ※前日までに電話での予約が必要です。この期間以外でも毎週木曜日(午前9時～17時、第2・4木曜日は午後7時まで)は検査を行っています。
*予約・問い合わせ先 水俣保健所 保健予防課 ☎(63) 4104

県内の企業・教育機関の皆さまへ

熊本県では、「産業人材強化支援センター」を設置し、コーディネーターがものづくりに係る人材育成のさまざまな相談を受けています。また、「ポータルサイト」『ジョブチャネルくまもと』では、ものづくりの人材育成に関するセミナーや助成

などの情報を提供しています。

【主な活動】

- ◎企業の要望に応じた社員研修やセミナーを紹介
◎社員や生徒、学生に見せたい専門的な現場や他企業の工場見学などの紹介
◎人材あっせんに関する相談窓口、Uターン情報窓口の仲介
◎企業が自社内で実施する計画的な技術指導・教育訓練に対し、外部講師を派遣
*問い合わせ先 産業人材強化支援センター ☎096(289) 2438

水俣病に関する資料収集にご協力を

水俣市立水俣病資料館では、館内展示内容の全面的な改修を予定しています。新たな展示資料として当時の生活を実感できるもの(昭和30年代の漁具、小型木造船など)を探しています。ご協力をお願いします。
*問い合わせ先 水俣市立水俣病資料館 ☎(62) 2621
訂正とお詫び 4月号22ページの子ども・子育て会議についての記事で「井川健次」は「川井健次」さんでした。

(10a以上)する農地、または、所有権移転(10a以上)する農地 ※ただし、同一世帯や相続、贈与などの手続きは対象となりません。

- ▼交付単価 契約面積10a当たり2500円から2万円
※契約の種類、契約期間などにより金額が異なります。詳しくはお問い合わせください。
*問い合わせ先 農林水産課 農政係 ☎(82) 2511 (内線271)

耕作放棄地解消を支援

- 耕作放棄地解消に取り組む人や取り組みを予定している人に再生作業の経費を一部支援する事業を行っています。
*問い合わせ先 農林水産課 農政係 ☎(82) 2511 (内線271)

計量器の定期検査

- 取引や証明に使用する計量器は、法律で2年に1回の定期検査が義務付けられています。該当する計量器をお持ちの人は受検してください。
▼日時・場所
◎6月3日(火) 午前10時～午後3時 地域活性化センター
◎6月4日(水) 午前10時30分～正午

介護予防のための「基本チェックリスト」

町では、日常生活における体や心の機能の低下を発見し、早めに介護予防に取り組んでもらうため「基本

- JAあしきた吉尾支所 午後1時30分～午後3時 大野出張所
◎6月5日(木) 午前10時～午前11時30分 多目的研修センター 午後1時～午後3時 町社会教育センター
◎6月6日(金) 午前10時～午後3時 町社会教育センター
▼持参物 計量器(質量計など)、手数料(1台当たり500円～2,200円程度)
▼検査対象計量器(はかり)
①商店などで商品の売買に使用②病院、薬局などで使用している調剤用
③学校、病院、保育園などで使用している体重測定用④農協、漁協など流通物質の集荷、出荷などに使用⑤宅配など運送業者などが貨物の運賃算出に使用⑥農業、漁業などの生産者が生産物などの売買に使用するはかりなど
*問い合わせ先 (二社)熊本県計量協会 ☎096(367) 7816

介護予防サポーター養成講座

- 自身の介護予防に関心がある人、ボランティアとして活動したいと考えている人は受講してみませんか。
▼日時 6月9日(月) 午前9時から午後4時
▼場所 きずなの里
▼対象者 町内にお住まいの人 (年齢、性別は問いません)
▼受講料 無料 (昼食は各自お持ちください)
▼申込期限 6月5日(木)
*問い合わせ先 社会福祉協議会 介護予防事業係 ☎(87) 0294

事件・事故は110番

芦北警察署

☎(82)3110



送り付け商法の被害・相談が急増!

平成25年は、健康食品などの商品を一方的に送り付けて購入させるいわゆる送り付け商法の被害が急激に増加し、全国の消費生活センターに寄せられた相談は3,774件と前年より2,618件増加しました。主に高齢者が被害に遭っており、相談の契約当事者に占める高齢者の割合は、94%にもなります。



消費者へのアドバイス

- ・注文した覚えがなく、購入するつもりがなければきっぱり断ること。
- ・注文した覚えのない物は絶対に受け取らないこと。
- ・高齢者のトラブルが多いので、家族や地域で見守ること。
- ・絶対に料金を支払わないこと。
- ・トラブルがあったらすぐに家族や警察に相談すること。

送り付け商法の手口

- ・注文していない商品を一方的に送り付け、消費者が勘違いして支払うことを狙う。
- ・主に高齢者を対象としている。
- ・業者名などを告げず、契約書面も交付せずに勧誘する。
- ・代金引換郵便を悪用しており、クリーニング・オフや返金の申し出に応じない。

トラブルになった場合

- ・商品を受け取ってしまい、しつこく請求されるなどの場合には、消費生活センターに相談する。
- ・相手が押し掛けてきた場合などには110番通報する。

火事と救急は119番

芦北消防署

☎(82)4731



地震への備えは万全に!

先月号で、地震発生時に気を付けることについて掲載しましたが、「地震に備えてどうしたらいいの?」と疑問に思われた人もいらっしゃると思います。今回は、地震への備えについてお知らせします。

身の安全の備え

- ・家具やテレビ、パソコンなどを固定し、転倒、落下、移動防止措置をしておく。
- ・けがの防止や避難に支障がないように家具の配置をしておく。
- ・食器棚のガラスや窓ガラスにはフィルムなどを貼り、ガラス飛散防止措置をしておく。
- ・散乱物だけがをしないように、スリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。
- ・停電に備えて懐中電灯をすぐ使える場所に置いておく。

地震発生時への備え

- ・火災の発生に備えて、消火器の準備や風呂の水のくみ置きをしておく。
- ・普段使用しない電気器具は、差し込みプラグをコンセントから抜いておく。
- ・非常用品は置く場所を決めて準備しておく。

確かな行動の備え

- ・家族で避難経路や避難場所を確認しておく。
- ・外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認方法や集場所を決めておく。



カンボジア学校建設のため書き損じはがきを集めています

芦北町国際交流協会では、カンボジアに学校を贈る運動を行っています。これまでに4校の校舍を贈り、5校目の建設に向けて活動中です。現在募金活動の一環として書き損じはがきを集めています。皆さまのご協力をお願いします。

【回収箱設置場所】

- 役場本庁舎、田浦基幹支所、各出張所、社会教育センター、JAあしきた(本所・田浦基幹支所・湯浦基幹支所・津奈木基幹支所・水俣基幹支所)

*問い合わせ先

芦北町国際交流協会事務局(企画財政課 まちづくり推進係)
☎(82)2511
(内線252)

日	月	火	水	木	金	土
5月18	19	20	21	22	23	24
芦北町イベントカレンダー 5月22日~6月28日				でこぼんキッズ(きずなの里)	介護相談会(きずなの里、各出張所など) 町民体育祭男女グラウンドゴルフ大会(岩崎グラウンド)	御立岬ビーチサッカーフェスティバル(御立岬海水浴場)
25	26	27	28	29	30	31
御立岬ビーチサッカーフェスティバル(御立岬海水浴場)	農業委員会総会(役場大会議室)			町国際交流協会総会(役場大会議室) でこぼんキッズ(きずなの里)	人権相談所開設(社教センター、地域活性化センター)	スマイルフェスタ2014(しろやまスカイドーム)
6月1	2	3	4	5	6	7
一日一汗運動 水俣市・葦北郡各町対抗陸上競技大会(エコパーク水俣)	海水浴場海開き(鶴ヶ浜海水浴場)			でこぼんキッズ(きずなの里)		
8	9	10	11	12	13	14
	平成生き生き大学開校式(吉尾地区)			平成生き生き大学開校式(佐敷地区) でこぼんキッズ(きずなの里)	年金出張相談(役場3階会議室)	
15	16	17	18	19	20	21
町民体育祭卓球大会(地域活性化センター)	平成生き生き大学開校式(大野地区)			平成生き生き大学開校式(湯浦地区) でこぼんキッズ(きずなの里)		町民歴史講座(社会教育センター)
22	23	24	25	26	27	28
町民体育祭男女バレーボール大会(しろやまスカイドーム)		農業委員会総会(役場大会議室)		平成生き生き大学開校式(田浦地区) でこぼんキッズ(きずなの里)		

田浦子育て支援センター 6月の行事

- 3日(火) 紙芝居を見よう
- 9日(月)~13日(金) 父の日プレゼント作り
- 17日(火) 散歩へ行こう 20日(金) 身体測定・誕生会
- 30日(月) 粘土で遊ぼう

*支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。一時保育も行っています。

▶センター利用時間 毎週月曜日~金曜日
午前9時30分~正午 午後2時45分~5時15分

*問い合わせ先 田浦子育て支援センター
☎(87)0034

*イベントについての問い合わせ先

- 芦北町役場 ☎(82)2511
- 教育委員会 ☎(87)1171
- 保健センター ☎(86)0200
- 社会教育センター ☎(82)2213

保健センターだより

～平成 26 年度予防接種～

予防接種は、各感染症に対して免疫（病気に対する抵抗力）を持たない人や免疫の増強が必要な人を対象に行われるもので、感染・発病予防、重症化予防および感染症のまん延防止などを目的に実施しています。

接種の種類	接種の方法
日本脳炎	初回接種については3歳に達した時から4歳に達するまでの期間を標準的な接種期間として6日以上、標準的には6日から28日までの間隔をおいて2回、追加接種については、初回接種終了後6カ月以上、標準的にはおおむね1年を経過した時期に、4歳に達した時から5歳に達するまでの期間を標準的な接種期間として1回接種する。
4種混合 3種混合 不活化ポリオ	初回接種については生後3カ月に達した時から1歳に達するまでの期間を標準的な接種期間として20日以上、標準的には20日から56日までの間隔をおいて3回、追加接種については初回接種終了後6カ月以上、標準的には1年から1年6ヶ月までの間隔をおいて1回接種する。

接種の種類	接種開始時期	接種回数	接種間隔
小児用肺炎球菌	【標準的な接種スケジュール】 生後2カ月から7カ月に至るまで	初回接種：標準的には1歳までに3回	27日以上 ※2回目・3回目は2歳に至るまでに行い、それを越えた場合は行わない。(追加接種は実施可能) ※2回目は1歳に至るまでに行い、それを越えた場合は、3回目は行わない。(追加接種は実施可能)
		追加接種：標準的には1歳から1歳3カ月に至るまでに1回	初回接種終了後60日以上の間隔をおいた後で、1歳に至った日以降
	【標準以外】 生後7カ月に至った日の翌日から1歳に至るまで	初回接種：標準的には1歳までに2回	27日以上 ※2回目は2歳に至るまでに行い、それを越えた場合は行わない。(追加接種は実施可能)
		追加接種：標準的には1歳以降に1回	初回接種終了後60日以上の間隔をおいた後で、1歳に至った日以降
ヒブ	【標準的な接種スケジュール】 生後2カ月から7カ月に至るまで	初回接種：3回	27日(医師が必要と認めた場合は20日)から56日まで ※2回目・3回目は1歳に至るまでに行い、それを越えた場合は行わない。(追加接種は実施可能)
		追加接種：1回	初回接種終了後7カ月以上、標準的には7カ月から1年1カ月まで
	【標準以外】 生後7カ月に至った日の翌日から1歳に至るまで	初回接種：2回	27日(医師が必要と認めた場合は20日)から56日まで ※2回目は1歳に至るまでに行い、それを越えた場合は行わない。(追加接種は実施可能)
追加接種：1回		初回接種終了後7カ月以上、標準的には7カ月から1年1カ月まで	
【標準以外】 1歳に至った日の翌日から5歳に至るまで	2回	60日以上	
	1回		

●平成 26 年度の接種勧奨について
今年度は、次の人に接種勧奨の個人通知をします。

接種の種類	対象者
麻しん風しん混合(2期)	平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれの人
2種混合	平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれの人
日本脳炎(2期)	平成8年4月2日～平成9年4月1日生まれで1期の接種が終了している人 ※接種歴を必ず母子健康手帳などで確認してください。

●就学前の定期予防接種の変更
予防接種実施規則などの改正がありました。平成26年4月1日以降の接種は下の表のとおりです。(変更点のみ記載しています。)

【町内医療機関】
芦北クリニック、井上医院、井上病院、篠原医院、竹本医院、七浦てらさきクリニック、松本医院、宮島医院、百崎内科医院
※医療機関により実施している予防接種の種類が異なります。
※事前に必ず予約をしてから接種してください。
※町外にかかりつけ医がある人は医療機関により接種できる場合がありますので、保健センターにお問い合わせください。
※問い合わせ先 保健センター ☎(86)0200

芦北に残る文化遺産

伏木氏棒踊り

芦北町指定無形民俗文化財
昭和55年7月1日指定

これから田植えの時期を迎え、農家にとっては雨が恋しい季節となります。江戸時代、雨乞いを祈願する際は各村に伝わる芸能を神様に奉納していましたが、江戸時代後期には棒踊りも踊られていたようです。今紹介する伏木氏棒踊りもそのような棒踊りの一つです。

伏木氏地区は平家の落人伝説がある山間地域で、地名由来の一説には「こんな山奥で優雅な暮らしをしていくことが不思議」ということから「ふしき」と呼ぶようになったという話もあります。

伏木氏棒踊りは、江戸時代頃から武芸のたしなみとして行われていたものが、明治時代初期に薩摩踊りを取り入れて、現在のような踊りになったと伝えられています。踊りは6種類あり、「道唄」「出羽」の後に、「メイソ」の踊りである「六人打」に、「新判」「二曳き」「鎌倉」と続きます。居合衣・袴姿にタスキと鉢巻をして、六尺棒と小太刀(かつては鎌)を手に踊ります。「二曳き」は4人一組、それ以外は6人一組で踊り、最低12



*問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係
☎(87)1171(内線145)

人は必要となるそうです。棒踊りは一般的に勇壮な激しい踊りですが、伏木氏棒踊りの「二曳き」はテンポがゆっくりとした優雅な踊りで珍しいものです。
また「新判」の歌詞には「勇みや唐金でくつわは黄金、金の手綱に銀の鞍、杵は白金、斗掻きは黄金金の俵に計り込む」という裕福さを誇張する文句があり、栄華を極めた平家とその落人伝説がある伏木地区を結びつけるような感じがします。

一時途絶えていましたが、昭和48年に復活して、保存会が結成されました。元々は男性だけが踊っていたのですが、今では女性も加わり、15世帯ほどの小さな地区が一丸となって、その継承に取り組んでいます。

景さんの芦北チョアチョア記

(第24回)

芦北町国際交流員
李允景(イ・ユンギョン)

アンニョンハセヨ！
皆さんはGW(ゴールデンウィーク)をいかがお過ごしでしたか？

韓国ではGWのような長い連休はありませんが、今年は特別に週末と祝日が連続で続き、日本と同じく5月3日から6日まで連休になり、各地で旅行に行く人たちにやる混雑が起きていたそうです。

私は旅行が好きなので、普段でも色んな観光地や名所を回っているのですが、GWの旅行は普段とはまた違う気がします。

何よりどこに行っても人が多い！そんな多くの人たちの中に和やかな雰囲気の家連れを見ていると、韓国の家族のことを思い出し、少し寂しさを感じたりもします。

そして各地で祭りやイベントが多い！地元のグルメや祭りでもワイワイ騒ぐことができたりしてとても楽しいですね。その中でも「博多どんたく港まつり」が一番印象

に残っています。一部のステージだけでなく、街全体が「祭り」の雰囲気でもにぎやかでした。特に天神の明治通りでのパレードでは参加している人たちがとても楽しそうに私も一緒に参加したかったです。

また、色んな割引がきく！GW限定セールと書いてあると、限定にひかれてつい買ってしまいますね(笑)。熊本のみもと城下まつりのときは市電が無料で運行されて市内のあちこちに回ることもできました。これもGWならではの楽しみではないかなと思います。

お正月やお盆のような年中行事以外に家族や友だちと一緒に楽しく過ごすことができるGWはとても大切な休日だと思えます。来年はどこに行こうかな。楽しみにしています。



高千穂に行ってきました



小野田桂子さん
(花岡東)



下田義治さん
(鶴木山)



坂口健一さん
(大川内西)

**民生委員・児童委員に対する
厚生労働大臣特別表彰**

民生委員・児童委員としてその職務に精励し功績が顕著であると認められ、辞職した年齢が75歳以上で在職期間が15年以上の3人に贈られました。

「カンボジア学校建設支援」田川地区

田川地区明るい農村農業体験実行委員会（大園憲博代表）が4月9日に役場を訪問し、芦北町国際交流協会（竹崎一成会長）にカンボジア学校建設支援の寄附金を手渡しました。田川地区では昨年8回目となる農業体験を実施。子どもからお年寄りまでが協力してもち米を作り、一部を販売して得た収益の2万円を寄附しました。実行委員会を代表して迫本明治区長が「老いも若きも童心に返り絆を深めています。心がこもっているの、ご活用ください」とあいさつしました。実行委員会の寄附は今回で5回目となります。



竹崎町長に寄附金を手渡す大園憲博代表と実行委員会の皆さん

乙千屋地区公園記念碑除幕式

乙千屋地区に整備された公園と記念碑が完成し、4月13日、地域主催の記念碑除幕式が行われました。式には関係者や地域住民など約40人が出席し完成を祝いました。乙千屋の江口龍文区長は「この公園を利用して深い絆を数多く作り上げていきたいと思いません。昨日までは、親戚関係のようだった地域を、今日からは、さらに家族のような関係に変えていけたらと思います」と地域を代表してあいさつしました。



降りしきる雨の中行われた記念碑の除幕

とうもろこしを植え付け、オーナー制度で

4月13日に大野温泉センターで、とうもろこしオーナー制度によるとうもろこし苗の植え付けが行われました。この制度は、1口3千円でとうもろこしのオーナー（所有者）となり、30本の苗の植え付けや草取りなどの作業を行い6月上旬に収穫されます。12回目となる今回は、町内はもとより遠くは荒尾市や天草市などから55組のオーナーが参加。あいにくの雨模様でしたが、参加した子どもたちはぬかるみに足をとられながらも「おいしいとうもろこしになるといいな」と言いながら一生懸命に苗を植え付けていました。



ぬかるみに足をとられながら植え付ける参加者

「湯浦温泉まつり」にぎわう

第2回湯浦温泉まつりが4月20日に行われました。雨のため、福祉センターでの開催となりましたが、湯の香太鼓やハワイアンフラなどのステージと食べ物や物販の出店でにぎわいました。今回、湯浦活性化協議会が、温泉焼酎、温泉まんじゅうに続く湯浦の特産品第3弾として、湯浦産のストレートみかんジュース「湯香ちゃん」を販売しました。湯香ちゃんは、ヘルシーパーク芦北などで販売されています。



じゃんけん大会で盛り上がる会場とみかんジュース「湯香ちゃん」(右下)



▲イノシシ被害にあった水稲

イノシシ・シカから農地を守ろう①

近年、全国的にイノシシやニホンジカをはじめとした有害鳥獣被害が問題となっています。

芦北町では、狩猟免許を持つ猟友会のメンバーに対し、鳥獣捕獲許可に基づき従事者証を交付し、イノシシやニホンジカなどの捕獲を行っています。こういった対策の効果もあり、被害は減少傾向にあるものの依然として被害が発生しています。

侵入防止柵で農地を守る

自分の農地は自分で守ることが基本です。そのため、町では被害防止対策事業として、農地への侵入防止柵（電気柵、金網柵など）設置への助成を行っています。



▲電気柵本体（ソーラー式）

【被害防止対策事業】

◆補助対象
①侵入防止柵
（電気柵、金網柵、ネット柵など）

②剥皮防止材などの資材
◆対象者
町内に農地または山林を持っている人、管理する人で販売目的の農作物（米、野菜、果樹など）を生産している人
※すでに本事業を利用した人は申請できません。

◆農地面積
10a（1000㎡）以上
※家庭菜園などは対象外です。

◆補助率 資材費の1/2以内
※上限5万円
*問い合わせ先

農林水産課 農政係
☎(82)2511(内線275)



鳥インフルエンザの終息について

熊本県内で4月13日に発生した高病原性鳥インフルエンザは、5月8日に終息を迎えることができました。

県民の皆さまには、車両消毒をはじめとする防疫対策へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございました。

県では、県産の鶏肉や鶏卵などの安全安心な農林水産物を皆さまにお届けするため、食の安全確保を第一に、引き続き生産者や関係機関と連携して参ります。

*問い合わせ先 熊本県 農林水産政策課 ☎096(383)1111

皆さんの声を町の行政運営に反映させます

町民意識調査結果〈概要〉

芦北町では、効果的・効率的な行政システム的确立を目指して「行政評価」に取り組んでいます。

生活の現状やまちづくりに対する町民の意識について調査し、今後の行政運営などに反映させる基礎資料とするため「政策に関する町民意識調査」を行いました。

なお、調査結果の確定版(報告書)は、芦北町公式ホームページに後日掲載します。

1 調査の方法

町内在住の20歳以上の町民を2000人無作為抽出し、平成25年11月1日から15日の期間に実施

2 回収結果

(1)配布数 2000件
(2)有効回答数 901件
(3)有効回収率 45・1%

※集計は、小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100にならない場合があります。

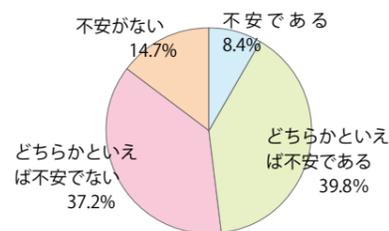
※回答の比率は、その質問への回答者数を基準として算出しています。また、対象者を限定した設問では、その回答者数を基準に回答の比率を算出しています。

*問い合わせ先

企画財政課 政策推進室 政策推進係
☎(82) 2511(内線253)

子育て支援の充実

問 子育てに不安を感じていますか(中学生以下の子どもがいる世帯)

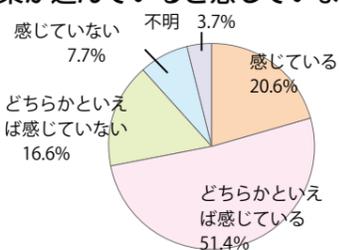


問 不安である、どちらかといえば不安であると感じる理由

1. 経済的	43.5%
2. 保育・教育環境	17.6%
3. 健康・医療	12.9%
4. 防犯上	9.4%
5. 学童保育	7.1%
6. 家庭環境	5.9%
7. その他	3.5%

消防・防災体制の充実

問 自然災害や火災などの災害に対する防災対策が進んでいると感じていますか

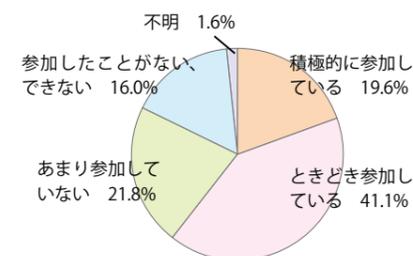


問 あなたの世帯では、災害に備えてどのような取り組みを行っていますか<複数回答可>

1. 火災警報器の設置	54.7%
2. 避難場所の確認	48.8%
3. 防災用具の確認	22.8%
4. 非常持出品の準備	21.9%
5. 何もしていない	7.5%
6. 不明	0.3%
7. その他	3.3%

みんなが主役のまちづくり

問 あなたは、地域活動に参加していますか

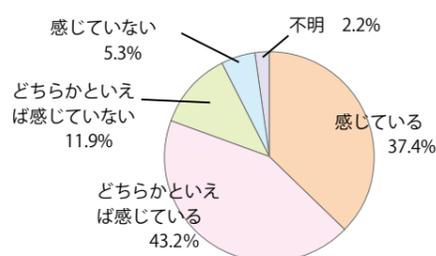


問 参加したことがない、またはできない理由

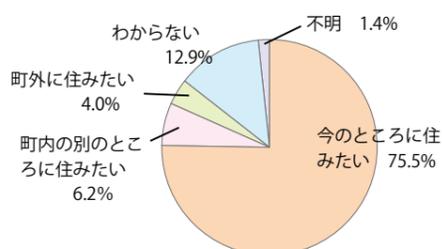
- ・病気や高齢のため取り組みない
- ・仕事や家事などで時間が取れない
- ・どのような地域活動があるのか知らない
- ・興味がない
- ・他の家族が参加している

快適な住環境の充実

問 住宅周辺が衛生的であると感じていますか

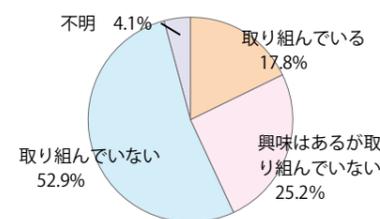


問 現在住んでいるところにこれからも住みたいと思いますか



生涯学習の充実

問 あなたは、自ら学習テーマを持って学習活動に取り組んでいますか

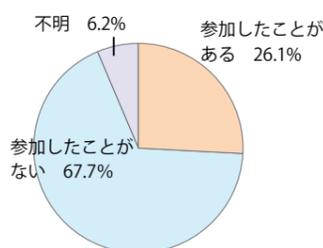


問 興味はあるが取り組んでいない理由

- ・仕事や家事などで時間が取れない
- ・病気や高齢などのため取り組みない
- ・興味のある取り組みがない
- ・内容がよくわからない

世界的な視野を持つ人材の育成

問 国際交流・国際協力の取り組みに参加したことがありますか

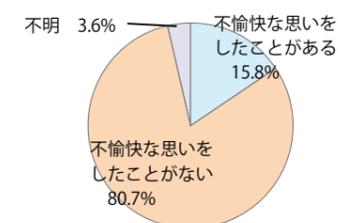


問 参加したことがない理由

- ・参加する機会がない
- ・病気や高齢のため取り組みない
- ・仕事などで時間が取れない
- ・取り組みを知らない
- ・興味がない
- ・参加しようと思わない
- ・参加方法がわからない

人権を尊重する社会の実現

問 あなたは、日常生活において人権侵害などで不愉快な思いをしたことがありますか

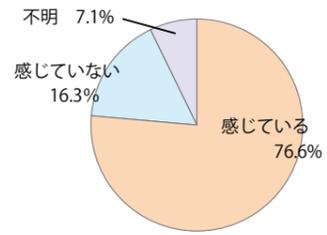


問 不愉快な思いをした理由

- ・うわさ、言葉の暴力
- ・近所や他人とのトラブル、もめごと
- ・性差別
- ・仲間はずれ

効果的・効率的な行政経営の確立

問 町の施設・行政サービスが利用しやすいと感じていますか

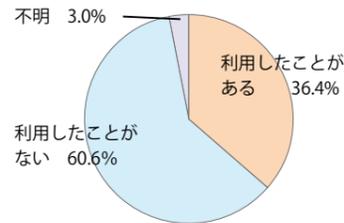


問 利用しやすいと感じていない理由

- ・職員の対応が悪い、遅い
- ・利用する機会がない
- ・行政サービスの説明不足
- ・施設の利便性が悪い
- ・交通の便が悪い
- ・サービスの低下

高速交通体系の充実

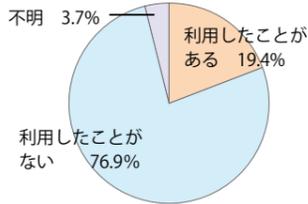
問 この1年間に肥薩おれんじ鉄道を利用したことがありますか



問 この1年間に肥薩おれんじ鉄道を利用したことがない理由

- ・自家用車を利用する
- ・利用する機会がない
- ・不便である
- ・病気や高齢のため
- ・必要性がない

問 この1年間に路線バスを利用したことがありますか

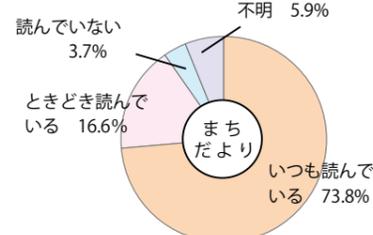
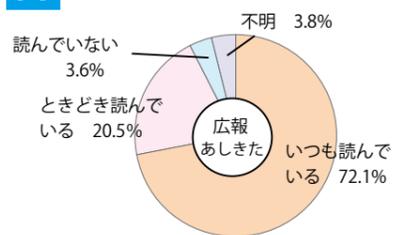


問 この1年間に路線バスを利用したことがない理由

- ・自家用車を利用する
- ・利用する機会がない
- ・不便である
- ・病気や高齢のため
- ・必要性がない

開かれた町政の推進

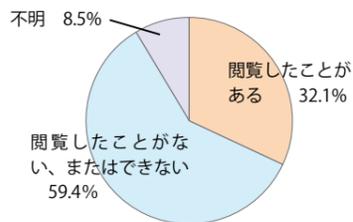
問 広報あしきた・まちだよりを読んでいますか



問 読んでいない理由

- ・関心がない
- ・読めない
- ・入院中、施設入所中
- ・読む機会がない

問 芦北町公式ホームページ（芦北町 HP）を閲覧したことがありますか



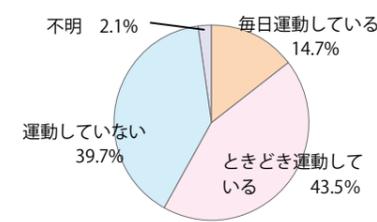
問 芦北町 HP を閲覧したことがない、またはできない理由

- ・パソコンを持っていない
- ・パソコンが使えない
- ・必要性を感じない
- ・興味がない
- ・ホームページがあることを知らない

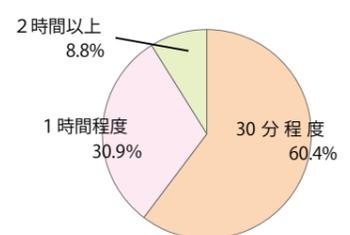
調査にご協力いただいた町民の皆様、ありがとうございました。

生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の推進

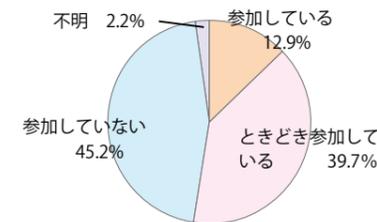
問 体力の維持・向上のため、日ごろから運動をしていますか



問 毎日運動している、ときどき運動している人は1日何時間程度運動をしていますか



問 スポーツやレクリエーション等のイベントに参加していますか

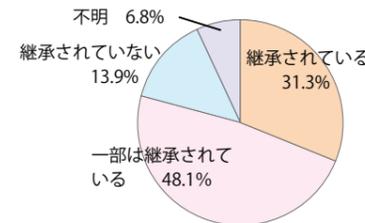


問 参加していない理由

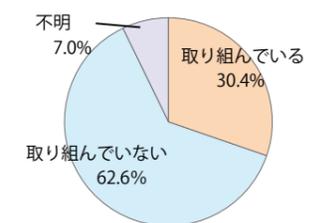
- ・病気や高齢のため参加できない
- ・仕事や家事などで時間が取れない
- ・参加する機会がない
- ・スポーツが苦手
- ・興味がない
- ・体力がない
- ・参加しにくい

文化財の保存と活用

問 あなたの地域では、文化財や伝統芸能・行事が保存・継承されていますか

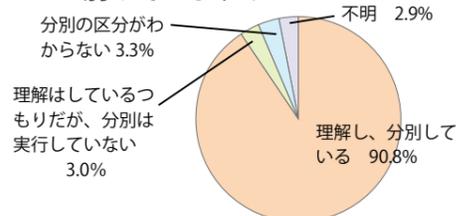


問 日ごろから芸術や文化活動に取り組んでいますか



循環型社会への転換

問 分別方法（22分別）を理解し、ごみを分別していますか

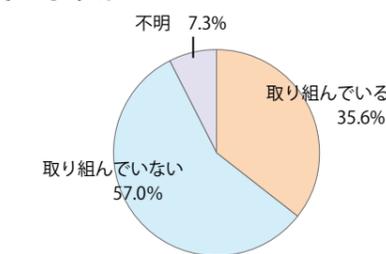


問 ごみの分別は理解しているつもりだが、実行していない、分別の区分がわからない理由

- ・家族が分別している
- ・分別区分がわからない
- ・分別の種類が多すぎる

自然環境保全の推進

問 地球温暖化対策として何か取り組みを行っていますか



問 どのような取り組みを行っていますか

- ・省エネ（節水、節電）・河川、海岸、地域の清掃
- ・環境にやさしい交通手段・太陽光発電
- ・ゴミの減量化
- ・エコ商品の活用
- ・グリーンカーテン

道の駅たのうらの防災機能が強化されました

道の駅たのうらの防災機能強化整備が完了し、4月12日、現地での竣工式が行われました。式には国土交通省や県選出国会議員、町関係者など約40人が出席しました。新たに整備された防災倉庫の除幕式の後、情報伝達や倉庫からの復旧資材搬出の訓練などが行われ、参加した町消防団員らが機敏な動作で一連の作業をこなしました。今回の整備で、災害などによる断水時もトイレが24時間使えるよ



防災倉庫の除幕を行う関係者

うになったほか、自家発電による電力確保と災害備蓄が可能となり、災害時の一時避難場所や復旧支援拠点として機能することになります。



資材搬出訓練を行う消防団員



整備された貯水槽と発電設備

芦北っ子スマイルギャラリー



つるもと そうや
鶴本 奏矢くん
1歳11カ月
(宮崎)



しみず かなな
清水 奏那ちゃん
1歳7カ月
(湯浦南)

掲載写真募集中

写真に、①子どもの氏名・ふりがな ②年齢③コメント(30字以内) ④住所⑤連絡先(電話番号)を添えて、Eメール、郵送、持参のいずれかでお申し込みください。

- ◎注意事項
- ・応募は保護者からに限ります。
- ・応募は町内在住の3歳までの子ども1人につき1点までです。
- ・写真はカラー写真とし、L判プリント、デジタルデータのどちらでも応募可能です。
- ・写真は返却しません。
- *申込・問い合わせ先
総務課 秘書広報係
☎(82)2511(内線212)
Eメール:koho@town.ashikita.lg.jp



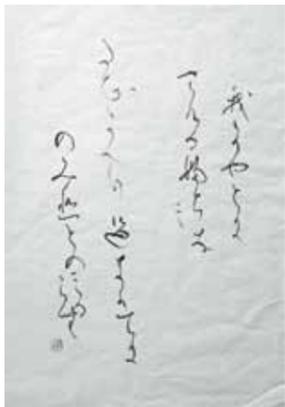
スマートフォンからはこちらのQRコードを利用すると便利です。

▼学校給食センターを取材しました。自分たちが食べていたときはどんなだったかなと思いつきながら20数年ぶりに給食を食べました。当時は、食材のことについては気にせず食べていたような気がしますが、給食の「おいしさ」には関係者の努力と生産者の愛情という隠し味が入っていることに改めて気付かされました。▼久しぶりにカゼをひいてしまいました。よりよって編集作業の追い込み時期に。給食のようにバランスのとれた食事と生活リズムを整えたいと思います。(上野)

▼佐敷諏訪神社例大祭の神輿巡行に午前中は取材で同行し、午後は葦北鉄砲隊員として参加しました。伝統あるお祭りに参加でき光栄でしたが、1日中歩いたり走ったりで終了後は疲れてぐったりしてしまいました。日ごろから運動をして体力をつけておくことが大事だと痛感しました。▼今月は24日、25日に御立岬で開催のビーチサッカー大会に職場チームで出場する予定です。素人集団ですが、にぎわせ(?)たいと思います(かまち)

編集後記

書道(かな)



松本 洋子

【町民講座】
「我がやどに咲ける藤なみ立ちかへり
過ぎがてにのみ人の見るらむ」 躬恒

短歌

【役場短歌会】
水濠の高岡古城に人集い桜花親しむ北陸の春
新しい制服姿の児童らに拍手湧き立つ夢よ叶えと
還暦の同窓会に再会の友ら当時の面影のこす
待ちわびし春は一気に押し寄せて慌てて満開競う花々
春の午後見上げる桜咲き満ちて眩しき中に花弁の舞う
園川 民夫
楠原 清照
早川 純一
竹崎 一成
竹浦 裕道

【田浦荘短歌会】
広々と続くま青の海よりの風に吹かるる岬のさくら
満開の岬の桜見ておれば亡き妻の声こころにひびく
一面の菜の花畑に夕つ日のおよぶこの道ゆつくり歩む
人に馴れ施設に馴れてたのしかり田浦荘のデイサービスの日
菜の花やさくら咲く道いそいと入学式の親子はゆけり
野浦 忍
竹田 安喜
中野セツ子
川口なつみ

お誕生おめでとう

H26.4.1～4.30 受付分(敬称略) 受付件数 12件

氏名	誕生日	性別	保護者	区
浅見 佑	3.30	男	貴弘	湯南団地
淵上 晴貴	3.30	男	貴博	道川内西
林田 貫汰	3.31	男	裕司	湯浦北
坂本 萌華	4.1	女	一彦	丸山
柿坂 煌翔	4.2	男	朋寿	芦北
森田 颯介	4.5	男	勤	米田
長濱 煌	4.10	男	由洋	湯南団地
田端 遥真	4.10	男	将太	田浦町4
藤本 悠馬	4.14	男	健太	田川
澁谷 響流	4.14	男	暢達	向町
本村 陽夏	4.15	女	蓮	田浦4
横山 日茉莉	4.19	女	貴之	芦北

※本町窓口へ届け出た人で、承諾を得た人を掲載しています。
町外へ届け出た人で掲載を希望する場合は、役場総務課秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H26.4.1～4.30 受付分(敬称略) 受付件数 32件

氏名	死亡日	年齢	区
松山 正志	3.31	85	井牟田1
迫本 次雄	4.1	102	田浦4
倉永 敏男	4.2	89	田浦4
緒方 サヨ子	4.3	80	沖
山本 ミキ	4.3	91	波多島
今村 ユキノ	4.4	84	湯浦南
松本 フクエ	4.4	83	松生
馬把 幹雄	4.7	66	向町
一地 みよ子	4.7	61	市野瀬
竹本 文夫	4.10	78	田浦2
吉川 義治	4.13	87	吉尾
中瀧 敏夫	4.15	88	高岡南
松田 ミチ	4.17	84	松生
中村 トシエ	4.17	92	丸山
福浦 義光	4.18	79	國見
板床 アサエ	4.19	100	海浦2
浪崎 ミジユ	4.20	94	波多島
寺川 保雄	4.21	59	女島西
橋口 辰喜	4.22	85	國見
遠原 千力	4.22	89	大野
上村 弘	4.23	85	岩屋川内
池田 敏光	4.24	77	古石北
平生 シズ子	4.25	85	平生
古村 昭博	4.26	79	宮崎
串山 シズ子	4.27	70	田浦3
川元 渡	4.29	87	波多島
向 妙子	4.30	82	計石東

※本町窓口へ届け出た人で、承諾を得た人を掲載しています。

「グリーンカーテンコンテスト」 参加者募集

【対象】 町内の家庭、事業所、学校など ※自薦・他薦は問いません

【応募部門】 個人の部、団体の部

【申込期間】 7月1日(火)から8月29日(金) ※申込書を提出し見頃になったらご連絡ください

【表彰】 応募のあった対象の中から優秀作品を表彰 (副賞を進呈)

*申込・問い合わせ先

住民生活課 環境対策係 ☎(82)2511 (内線147)

この植物を植えたり、拡げたりすることは法律で禁止されています！

ケシ、アツミゲシ ハカマオニゲシ

麻薬の原料となる「けし」は、麻薬取締法により栽培が規制されています。植えてはいけない「けし」は次のような特徴があります。
①葉のまわりの切れ込みが浅く、葉が茎を抱き込んでいる
②主に紫色の花や八重咲きの花



▶町内に自生したアツミゲシ



▶八重咲きのケシ



▲葉が茎を抱きこむ特徴があります

【処理する時の注意】

自宅の庭や畑に自生している場合は根から引き抜き、種が落ちないよう袋などに入れて、燃えるゴミとして処分してください。なお、自分の土地以外で発見した場合は、住民生活課までご連絡ください。
※オニゲシ、アイスランドポピー、ヒナゲシなどの植えてもよい「けし」もあります。

オオキンケイギク

オオキンケイギクは、5月～7月ごろにかけて黄色の花が咲く植物で、本町でも道端などでよく見かけます。しかし、「特定外来生物」(注)に指定され、栽培、運搬、販売、野外に放つことなどが禁止されています。



▶オオキンケイギク

【処理する時の注意】

根から引き抜き、2～3日天日で乾燥させ枯死させた後、燃えるゴミとして処分してください。なお、地区などで大量に処分しようとする場合は、住民生活課までご連絡ください。

*問い合わせ先

住民生活課 環境対策係
☎(82)2511(内線147)

芦北町立星野富弘美術館だより

◇「0・1の積み重ね展」開催中

- 期間 7月27日(日)まで
- 休館日 第2・4月曜日(祝日除く)
- 開館時間 午前9時～午後5時



▶「麦の穂」 1973年

平成26年度の展示が、いよいよ始まりました。おかげをもちまして今年で美術館は8周年を迎えました。

富弘さんの「麦の穂」を見てみると、0・1でもコツコツ続けることの大切さを感じます。今年度もコツコツ頑張っていこうと思います。(学芸員)

*問い合わせ先

星野富弘美術館
☎(86)1600